

奥出雲町地域公共交通計画(素案)に対する意見(パブリックコメント)と回答

1. 募集期間 令和 6 年 1 月 30 日～令和 6 年 2 月 28 日
 2. 意見の提出者数 6名
 3. 意見の内容と回答 下表のとおり

提出者 No.	ページ	意見	回答
1	—	<p>【路線バス(運行便数他)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用勝手が悪い ・ 使い易い時間帯にする(昼間でも乗っていない便が多い) ・ バス停までの距離、買い物をした時の運搬が困難 ・ バスに乗りにくい(ステップの高さ) ・ 大型バスを減らし中型、小型のバスに変更する ・ デマンドバスの早期の立ち上げ <p>【タクシー(タクシーの利用)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電話しても来てもらえないので不便 ・ 白タク特区の検討、実現 <p>【助成(タクシー券、交通サポート券)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タクシー券が使いにくいので使い易い制度検討 ・ 交通サポート券とタクシー券の一本化する 	<p>奥出雲町地域公共交通計画は、奥出雲町の公共交通のあり方を示すマスタープランとして位置付けています。路線バスやタクシーのサービス、及び利用者に対する助成制度に関する個別の内容は、今後計画を推進していく中で交通事業者や関係課等と協議し、よりよいサービス等になるよう、具体的に検討したいと考えております。</p> <p style="padding-left: 2em;">いただきましたご意見を参考にさせていただきます。</p>
2	—	<p>私は民生委員活動を通じて独居高齢者の見守りをを行っている者です。</p> <p>町内の多くの高齢者にとって生活の足の問題は大きな不安であり、切実な問題です。</p> <p>今は、それぞれが近所や子供の協力を受けながら、なんとか生活を維持されており、また、車を所持している方でも「免許は返納したいのは山々だが、仕方なく免許を更新し続けるしかない」という状況の高齢者も多いのが実情です。</p> <p>近年の急激な人口流出という状況の中で、私の自治会の、「家庭内で誰も免許を持たない」いわゆる「交通弱者」は、逆に年々増加していく傾向にあります。</p>	<p>日常生活における移動が困難な高齢者が増加している現状や移動が困難な高齢者のご意見については、本計画策定に向けて行った各種アンケート調査やヒアリング調査等によって把握させていただいており、ご意見のとおりであると認識しております。</p>

提出者 No.	ページ	意見	回答
2	46	<p>本計画では路線バスの「高校生以上の利用者は減少する」見込みであるとの予測ですが、高校生はおそらく減るのでしょうか、公共交通の使い勝手が良ければ、高校生以外の一般者、高齢者の利用者は増える可能性があるのではないのでしょうか。</p>	<p>P46 評価指標②における路線バス利用者の目標値は、本計画の柱となる施策の一つである「路線バスの運行見直し」を考慮して設定しています。</p> <p>ご意見のとおり高齢者等の利用増加を目的とした施策にも取り組めますが、町全域にわたって路線バスの運行を見直し、予約型乗合交通の導入を進めていくことから、基本的には路線バスを利用する高齢者等はある程度減少するという予測のもと、目標値を P46 のとおりとしています。</p>
	32 35 38 44	<p>しかし現実、公共交通の「運転手の数」は減っていくのですね。</p> <p>そしてこのギャップを埋めるために取られる対策が</p> <p>「採算の取れない昼間の便を減らすこと」と「予約乗合型方式」に変換すること。</p> <p>後は「タクシーと小さな拠点」でカバーすること。</p> <p>これだけで 本当に問題は解決できるのでしょうか。</p> <p>ライドシェアがこれから導入されるとしてもです。</p> <p>この計画の内容では「対策としては弱い」というイメージを受けます。</p> <p>何か「町内独自の対応策」を検討してみる必要があるのではないのでしょうか。</p>	<p>運転手不足への対応については、ご意見にある対策を中心に取り組む考えですが、「施策 7 交通事業者の経営改善と事業性の向上」や「施策 8 鉄道の利用促進」と絡めた新たな収益源の確保など、交通事業者の経営改善に直接つながる施策も実施する予定です。</p> <p>計画期間中については、上述の施策を一体的に実施することにより、基本理念である「総力戦による持続可能なまちづくり」を実現していきたいと考えています。</p> <p>ご意見の「町内独自の対応策」は、今後施策の内容を具体的に検討する中で、合わせて検討してまいります。</p>
	48	<p>また「奥出雲町地域公共交通会議」についての記載が少ないので、よくわからない部分が多いのですが、その構成員はどういう選定基準で選出されるのでしょうか。</p> <p>メンバーに町内在住者が少ないという声も聴きますが、地元の事情を良く知った方をもう少し増やした方がいいのではないのでしょうか。</p>	<p>奥出雲町地域公共交通会議については、道路運送法、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、必要な構成員を選出しています。公共交通利用者の意見等をお伺いするため、住民代表の方にもご出席いただいています。なお、奥出雲町地域公共交通会議における計画の検討経緯は、地域公共交通計画の巻末にも掲載しておりますのでご参照ください。</p> <p>今後の計画推進では、ご意見のとおり地域の事情把握が重要となることから、引き続き住民代表の方にご出席いただくとともに、状況に応じてその他の関係者にもご出席いただきながら進めてまいります。</p>

提出者 No.	ページ	意見	回答
2	—	<p>本件は町民にとって関心の高い事だと思 います。</p> <p>しかしこのパブリックコメントは町民にあまり知られていない気がします。</p> <p>この計画自体もっとオープンにして町民に周知を広めていただきたい。</p> <p>そしてどんどん町民の意見を吸収して、この計画を良いものにして行ってもらいたいと思います。</p>	<p>本計画については、成案後に奥出雲町のHP で公開するほか、手に取りやすい計画の概要版等も作成し、地域住民や関係者のみなさまへの周知を進める予定です。</p> <p>また、ご意見のとおり本計画を推進していくにあたっては地域住民や関係者のみなさまから随時ご意見をいただき、必要に応じて計画の見直しも検討していきます。</p>
3	40	<p>【施策3 地域の実情に応じた乗合交通の導入について】</p> <p>奥出雲町内の移動ニーズの今後を考えると、公共交通維持の為に多額の資金を投入し続けるより、町内の交通体系を早急に再構築する必要性を強く感じます。</p> <p>その切り札となるのが、町全体を補完出来る住民共助型の乗合交通の導入だと考えます。導入可能な先進事例として、鳥取県智頭町のシステムを紹介した資料を添付します。</p>	<p>住民共助型の乗合交通の導入は「施策3 地域の実情に応じた乗合交通の導入」における方法の1つと認識し、交通事業者・地域が保有する資源の状況や事業の持続可能性を踏まえて今後検討・議論したいと考えています。</p> <p>情報提供いただいた先進事例については、事業実施の参考にさせていただきます。</p>
	45	<p>【施策3 の実施スケジュールについて】</p> <p>R6年度の実証運行は必要だと考えますが、それに至るまでに、奥出雲町役場に選任組織を立ち上げ、主体となって利用条件、予約方法等の周知と利用者の理解を得ることが最重要だと考えます。そのうえですでに破綻している公共交通のことを考えると、R7～R10のスケジュールの大幅な前倒しを要望します。</p>	<p>予約型乗合交通の利用条件や予約方法等に関する説明は、奥出雲町が主導し、交通事業者や地域住民のみなさまのご協力を得ながら、丁寧に行う予定です。選任組織という形ではありませんが、必要に応じて関係者が集まり、意見を出し合う場を設けることを考えています。</p> <p>施策3における「本格運行・他地域への展開」のスケジュールは現時点での想定であり、令和6年度の実証運行の状況を踏まえて可能な部分については前倒しで実施したいと考えています。</p>
	46	<p>【予約型乗合交通の導入目標評価指数①について】</p> <p>導入を前提とした実証運行を早急に実施し、R10時点で6エリア中3エリアを目標とするのではなく、より早く全エリアへの導入を目標とすべきだと考えます。</p>	<p>地域によって現状が異なるため、予約型乗合交通がすべての地域に最適な移動手段とならない可能性もあり、各地域で実証運行を進めながら慎重に判断する必要があると考えます。現時点では6エリア中3エリアという目標値を設定しながら、計画を推進していきたいと考えています。</p>

提出者 No.	ページ	意見	回答
4	23 29 41 43	一人で乗車することに不安や困難がある人への支援について、当事者へのニーズ調査、ノンステップバスの導入運行(積雪時期には難しいと思いますが、それ以外の時期に)、介助者の確保育成等の支援計画をお願いしたいです。	<p>身体的な理由等から、独力での公共交通の利用に不安や困難を抱えていらっしゃる方への対応は、該当する方の声を把握しながら今後進めていく考えです。</p> <p>なお、路線バスの運行を担う奥出雲交通(株)では現在3両のノンステップバスが導入されていますが、一部積雪の多い地域では低床バス車両の導入は難しい状況です。</p> <p>いただいた車両や介助者等に関するご意見については、具体的な対応を検討する際の参考にさせていただきます。</p>
	31	【基本目標】 障がい者の視点を加えてほしいと思います。	基本目標1の「誰もが笑顔で安心して暮らし訪れることのできるまち」は、障がいの有無にかかわらず誰にとっても利用しやすい公共交通環境の整備を視野に入れて設定しています。
	15	【移動支援施策】 バス・タクシーの利用助成券は、障がい者への助成がありますか。	<p>「奥出雲町高齢者生活交通サポート事業」等は、障がいの有無ではなく年齢等を要件とした制度となっています。</p> <p>障がいのある方に対しては、別途「奥出雲町外出支援サービス事業」により外出支援を行っています。</p>
	24	イベント、人が集まる場所、カフェ等への移動手段をどうするか？気軽に話し合える機会や、アイデアを試行して検討できるような機会、支援のしくみをつくってほしいと思います。	<p>路線バスや予約型乗合交通等の公共交通については、人が集まる場所等を考慮しながら経路地、運行ルートを検討する予定です。</p> <p>新しい交通体系の構築に向けては地域住民や関係者のみなさまとアイデアを出し合い、試行(実証運行)を繰り返しながら進めていきます。</p>
5	3	【公共交通に関する内容】 生活交通サポート券、タクシー利用券の利用率を向上させるとともに、満足度を上げることを目的とすることが重要ではないでしょうか。	<p>「奥出雲町高齢者生活交通サポート事業」、「奥出雲町高齢者タクシー利用助成事業」については、ご意見のとおり利用率や満足度の向上が課題であると認識しております。</p> <p>支援を必要とする方が使いやすく、わかりやすい制度とするための見直しについては、41ページの「施策4 移動に関する公的補助・支援制度の見直し」に掲載しておりますのでご参照ください。</p>

提出者 No.	ページ	意見	回答
5	10	【鉄道】 令和5年度で終了したおろち号と、今後 運行するあめつちの記述が無い。	トロッコ列車「奥出雲おろち号」は、計画期間 前に運行終了となったため、本計画には特に記 載しておりません。 観光列車「あめつち」については、29 ページ の「奥出雲町の地域公共交通を取り巻く問題 点」、43 ページの「施策8 鉄道の利用促進」に 記載しておりますので、ご参照ください。
	31	【総戦力】 総戦力とは便利な言葉であるが、実際 にどういった主体なのかははっきりさせ るべき。 そして、それに関する主体を一堂に会し た協議の場を設けるべき。	基本理念の「総力戦」という言葉は、「奥出雲 町に関わる多様な主体が、状況に応じて柔軟に 連携・共創していく」という意味で使用して おり、決まった主体があるわけではありません。 ご意見にある「協議の場」については、各施策 の実施において、対象地域や政策テーマごと に関係者が集まり、意見を出し合う場を設ける ことを考えております。
	43	【EV 車両】 「EV 車両の」と限定する必要はない。	ご指摘のとおり PHEV 等もありますので、 「EV 車両等」へ修正します。
	44	【事業 10-1】 「高齢者」と限定する必要はない。	「取り組むべき課題」(30 ページ)の4で示 しているとおり、高齢者のサポートや外出促進は 重要な課題であることから、事業 10-1 では 「高齢者の外出目的を創出」と記載しています。 一方、ご意見のとおり実際の利用者は高齢者に 限らないことから、様々な利用者層に対する利 用促進を今後検討していきます。
	44	【事業 10-2】 オープンデータ化は必須なので、まず オープンデータ化を完成、充実させるこ とが先。	ご意見のとおり、バス路線のオープンデータ化 は重要な課題の一つであると認識しています。 今後、実現に向けて検討を進めていきます。

提出者 No.	ページ	意見	回答
6	—	<p>ライドシェアの導入賛成ですけど安全面と利便性等に問題あり。</p> <p>バス会社、タクシー、自治体、役所(役場)の連携を密にしてスムーズに成りたつ事！</p> <p>新しい事務局を設立して皆様(特に老人等)にわかりやすい様に願う！</p> <p>料金等も何か補助金等があれば導入し年寄にやさしく願う！</p> <p>バス、タクシー、デマンド等共の関係性を明確にしてスムーズになる事願う</p> <p>自治体にも担当性したらどうだろうか？</p>	<p>40ページの「事業3-1 予約型乗合交通の導入」は、「既存の交通事業者が運行業務を担うことを基本とする」、「(状況に応じて)交通事業者と住民等の共創・連携についても検討する」としており、早急にライドシェアを導入する考えは現時点ではありません。今後の社会情勢や町内の状況の変化に合わせ、柔軟に検討したいと考えています。</p> <p>高齢者をはじめとする地域住民や来訪者のみなさまにわかりやすい公共交通サービスの構築については、奥出雲町と各交通事業者で緊密に連携し、今後進めていきます。「新しい事務局」については、必要性を検討します。</p> <p>公共交通の料金・運賃に対する高齢者への支援については、41ページの「施策4 移動に関する公的補助・支援制度の見直し」において考えていきます。</p> <p>各公共交通機関の役割の明確化、相互の連携による町内でのスムーズな移動の実現に関しては、ダイヤの調整等を随時行いながら、取り組んでいく考えです。</p> <p>行政側の体制については、計画期間中に担当者が変わる場合でも地域公共交通計画の内容共有、引継ぎを十分に行い、円滑な計画推進に努めます。</p>